

## 第 12 回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の概要

1 日 時 令和 4 年 10 月 11 日（火）14：00～15：30

2 場 所 富山県民会館 8 階バンケットホール

3 内 容

（1）表 彰 式

（2）議 事

ア 富山県食品ロス削減推進計画に基づく食品ロス等削減に係る取組みの進捗状況について（事務局から報告）

イ 意見交換

4 主な意見の概要

<食品ロス削減対策全般>

- ・ 今後の定着には、小学生や中学生、またその次の世代である高校生や大学生、働く若い世代や子育て世代の若い親御さんが、これからの暮らしのなかでしっかり取り組むことが、大変重要だと感じた。
- ・ 周知はそれなりにされているという感じはあるが、個人個人の受け止め方は異なるため、どう平均化していくかが大事ではないか。

子どもから若者や大人まで、幅広く食品ロス削減対策に関心をもち、実践されるよう、引き続き関係機関と連携し、ホームページや出前県庁による講習会、学校の授業の活用など、様々な機会を通じ、周知に努めてまいりたい。

<事業系食品ロス>

- ・ ドラッグストアの商慣習のなかでは、返品が問題である。卸や小売における、パッケージの損傷による不良品扱いをなんとか防ぎたい。

商慣習の見直しについては、個々の企業の取組みのみでは解決が困難であり、製造事業者、卸・小売の流通段階、消費者までのフードチェーン全体での取組みが必要である。パッケージの損傷による食品ロス削減についても、製造・流通・消費それぞれの段階でどのように取り組んでいくかを共有していくことが重要であると考え、今後さらに、全国の先進事例や国の動き等の把握に努めてまいりたい。

<未利用食品の有効活用>

- ・ エコフィードを利用した畜産物ということを、どのように県民の皆さんにPRをしていくのかということも課題である。
- ・ フードバンクの活動或いはフードドライブの拡大について、かなりできていると感じるが、なんとなくそれぞれの団体がバラバラで、且つ単発で終わっているように感じる。色々なところに色々な知恵があると思われるので、十分に意見を聞き、どんどん参加者を増やしていただきたい。

エコフィードやフードバンク活動、フードドライブなど、未利用食品の有効活用については、活動団体等の取組状況やご意見の把握に努めるとともに、関係機関・団体との連携を強化し、事業者や受取先の情報発信やマッチング支援など、取組みの輪が広がるよう引き続き取り組んでまいりたい。